

平成 25 年度 事業報告書

学校法人 大垣女子短期大学

I 法人の概要

- 1 学校法人の沿革（概要）
- 2 設置する学校・学科
- 3 入学定員、学生数の状況
- 4 組織図
- 5 役員（理事・監事）、評議員
- 6 教員組織
- 7 事務職員数

II 事業の概要

- 1 教育・研究
- 2 学生支援
- 3 施設整備・管理・運営
- 4 地域社会との連携及び貢献
- 5 日本中央看護専門学校

III 財務の概要

- 1 平成 25 年度決算の状況
 - 収入について
 - 支出について

IV 決算書類

- 1 財産目録
- 2 貸借対照表
- 3 資金収支決算書
- 4 消費収支決算書
- 5 監査報告書

I 法人の概要

1 学校法人の沿革(概要)

昭和 44 年 2 月	学校法人大垣女子短期大学 設立認可 大垣女子短期大学 設置認可 幼児教育科第一部 設置認可
昭和 44 年 4 月	同上 開設
昭和 45 年 1 月	幼児教育科第三部 設置認可
昭和 45 年 4 月	同上 開設
昭和 46 年 1 月	美術科、音楽科 設置認可
昭和 46 年 4 月	同上 開設
昭和 49 年 2 月	保健科第一部 設置認可
昭和 49 年 4 月	同上 (歯科衛生士養成課程) 開設
昭和 52 年 1 月	保健科第三部 設置認可
昭和 52 年 4 月	同上 (歯科衛生士養成課程) 開設
昭和 62 年 4 月	保健科第一部、保健科第三部を歯科衛生科第一部、歯科衛生科第三部と名称変更認可
平成元年 6 月	美術科を デザイン美術科 に名称変更認可 (美術科の名称にて入学した学生が卒業するまでは、デザイン美術科とともに寄附行為に併記する。)
平成 2 年 12 月	国際教養科 設置認可
平成 3 年 4 月	同上 開設
平成 3 年 5 月	美術科の名称にて入学した学生が卒業(平成 3 年 3 月 21 日)したため、美術科を削除する寄附行為変更認可
平成 12 年 7 月	歯科衛生科第三部、国際教養科を廃止する寄附行為変更認可
平成 14 年 4 月	歯科衛生科第一部を 歯科衛生科 に名称変更認可 (歯科衛生科第一部の名称にて入学した学生が卒業するまでは、歯科衛生科とともに寄附行為に併記する。)
平成 15 年 4 月	歯科衛生科 修業年限3年に変更
平成 16 年 4 月	音楽科を 音楽総合科 に名称変更認可 (音楽科の名称にて入学した学生が卒業するまでは、音楽総合科とともに寄附行為に併記する。)
平成 17 年 3 月	幼児教育科第三部 廃科
平成 18 年 4 月	幼児教育科第一部を 幼児教育科 に名称変更寄附行為届出 (幼児教育科第一部の名称にて入学した学生が卒業するまでは、幼児教育科とともに寄附行為に併記する。)
平成 19 年 4 月	幼児教育科 収容定員変更認可(200名→300名)
平成 20 年 4 月	歯科衛生科 収容定員変更認可(240名→150名)
平成 21 年 3 月	寄附行為 一部変更認可 (理事定数の削減 10人以上 13人以内 → 8人以上 10人以内、評議員 27人以上 30人以内 → 21人以上 25人以内)
平成 22 年 4 月	幼児教育科 収容定員変更認可(300名から 150名) デザイン美術科 収容定員変更認可(160名から 100名) 寄附行為 一部変更認可(役員、評議員の任期 4年→2年)
平成 24 年 2 月	寄附行為 一部変更認可(日本中央看護専門学校設置)
平成 24 年 4 月	学校法人大垣女子短期大学 日本中央看護専門学校 開設 日本中央看護専門学校看護学科 看護師養成所指定
平成 24 年 6 月	大垣女子短期大学 収容定員変更認可(500名→740名)
平成 24 年 8 月	大垣女子短期大学看護学科 看護師学校指定認可
平成 25 年 4 月	大垣女子短期大学看護学科 開設(入学定員 80名、修業年限 3年) 大垣女子短期大学看護学科 看護師学校指定

2 設置する学校・学科

(1) 設置する学校

■大垣女子短期大学 岐阜県大垣市西之川町1丁目109番地

■日本中央看護専門学校 岐阜県大垣市河間町3丁目77番地

(2) 設置する学科

■大垣女子短期大学 幼児教育科
デザイン美術科
音楽総合科
歯科衛生科
看護学科

■日本中央看護専門学校 看護学科

3 入学定員、学生数等の状況

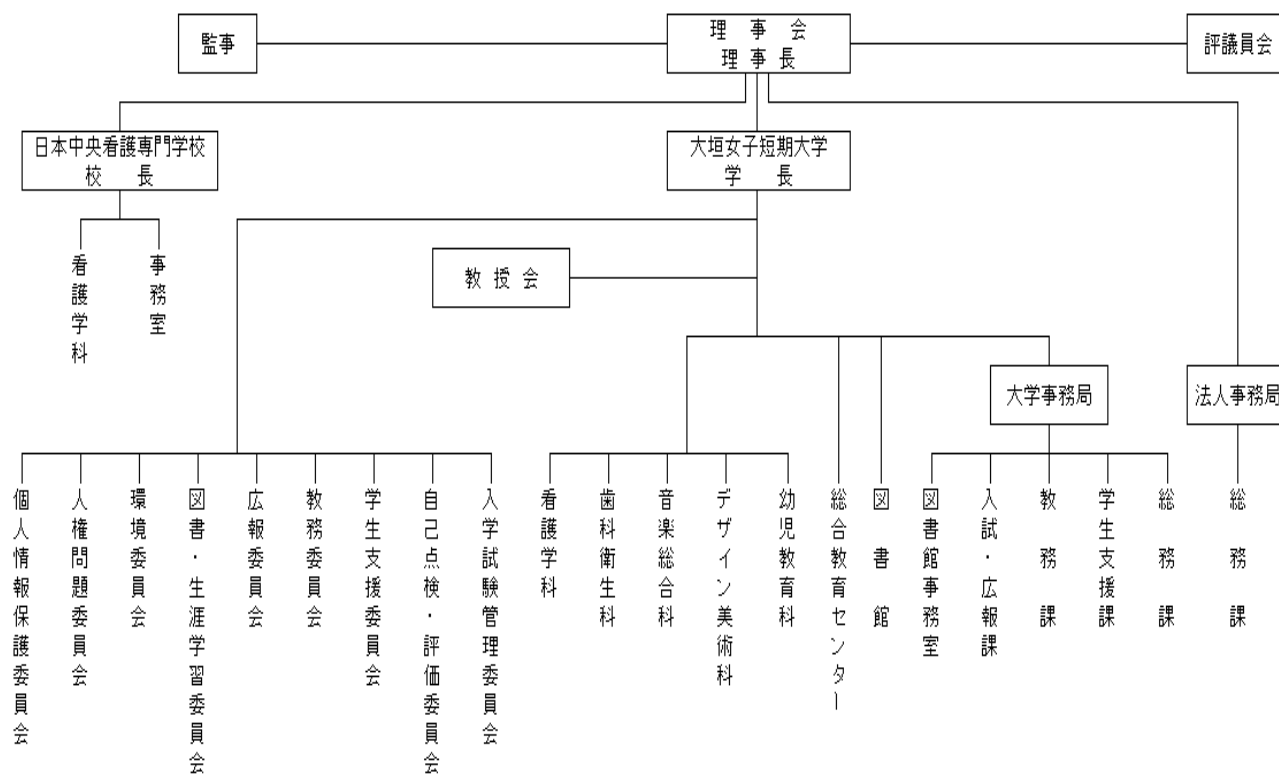
(1) 入学定員、収容定員 (平成25年5月1日現在) (単位:人)

学校名	学科名	入学定員	収容定員
大垣女子短期大学	幼児教育科	50	150
	デザイン美術科	50	100
	音楽総合科	50	100
	歯科衛生科	50	150
	看護学科(1年次のみ)	80	80(240)
短期大学 合計		280	580(740)
日本中央看護専門学校	看護学科(募集中止)	—	80(120)

(2) 学生数の推移 (毎年5月1日現在) (単位:人)

学校名	学科名	年次	平成23年度	平成24年度	平成25年度
大垣女子短期大学	幼児教育科	1年次	39	32	50
		2年次	39	36	32
		3年次	22	38	34
		計	100	106	116
	デザイン美術科	1年次	36	38	47
		2年次	47	39	34
		計	83	77	81
	音楽総合科	1年次	61	50	52
		2年次	60	60	52
		計	121	110	104
	歯科衛生科	1年次	50	63	66
		2年次	49	44	60
		3年次	13	46	46
		計	112	153	172
	看護学科 (1年次のみ)	1年次	—	—	93
		2年次	—	—	—
3年次		—	—	—	
計		—	—	93	
短期大学 合計			416	446	566
日本中央看護専門学校	看護学科 (募集中止)	1年次	39	43	—
		2年次	52	37	41
		3年次	53	51	42
専門学校 合計			144	131	83

4 組織図



5 役員、評議員

(1) 役員(理事、監事)

			氏名
理事 現員 10人	寄附行為第6条 第1項第1号(学長、校長)	理事長	中野 哲
			伊藤 恒子
	寄附行為第6条 第1項第2号 (3人以上4人以内) 現員4人		田中 勝英
			服部 篤典
			石川 隆義
			吉田 健
	寄附行為第6条 第1項第3号 (4人以上5人以内) 現員4人	常務理事	平林 佳郎
		副理事長	安田 隆夫
			曾根 孝仁
			広瀬 幹雄
監事			子安 一徳
寄附行為第5条第1項第2号(2人) 現員2人			矢橋 慎哉

(2) 評議員

		氏名
評議員 現員 24人	寄附行為第22条 第1項第1号 (9人) 現員9人	矢田貝 真一
		森山 高明
		吉田 紀子
		川合 健司
		吉田 健
		永縄 直樹
		加納 秀美
		宮脇 章
		栗田 孝子
	寄附行為第22条 第1項第2号 (3人以上4人以内) 現員4人	北村 君子
		杉山 里津子
		関谷 智子
		光井 恵子
	寄附行為第22条 第1項第3号 (9人以上12人以内) 現員11人	中野 哲
		浅野 妙子
		杉山 勝治
		田中 勝英
		安田 隆夫
		加藤 有子
		岩田 千鶴子
	西川 正晃	
	石川 隆義	
	服部 篤典	
	野網 淳子	

6 教員組織

(1) 大垣女子短期大学の専任教員数 (平成25年5月1日現在)

学科名	専任教員数(人)					短期大学設置 基準で定める 教員数(人)	備考
	教授	准教授	講師	助教	計		
幼児教育科	4	3	4	0	11	8	センター含む
デザイン美術科	3	1	1	0	5	5	
音楽総合科	2	3	1	0	6	5	
歯科衛生科	4	4	1	2	11	10	
看護学科	3	1	4	2	10	10	
小計	16	12	11	4	43	38	
全体の入学定員数に 応じて定められる 専任教員数	—	—	—	—	—	5	
合計	16	12	11	4	43	43	

(2) 日本中央看護専門学校専任教員数 (平成25年5月1日現在)

学科名	専任教員数(人)	看護師養成所 指定規則で 定める教員数	備考
看護学科	8	8	看護師

7 事務職員数

(平成 25 年 5 月 1 日現在)

所 属	部 署	専任職員数(人)	兼務(人)
学校法人大垣女子短期大学	事務局長	1	
	総務課	4	
	合計	5	
大垣女子短期大学	事務局長	1	内、兼務 1
	総務課	4	内、兼務 4
	教務課	3	
	入試・広報課	3	内、兼務 1
	学生支援課	5	
	図書館事務室	2	内、兼務 1
	合計	18	内、兼務 7
日本中央看護専門学校	事務長	1	内、兼務 1
	職員	2	
	合計	3	内、兼務 1

II 事業の概要

1 教育・研究

○教育職員個人研究費<全学科>

大垣女子短期大学専任教員 43 人、日本中央看護専門学校教諭 8 人に対する研究費の支出を行った。

○卒業記念展事業<デザイン美術科>

岐阜県美術館で卒業予定学生の作品展を開催した。:2/11~2/16

○演奏会事業<音楽総合科>

- ・定期演奏会:11/23 於:大垣市スイトピアセンター音楽堂
- ・卒業演奏会:2/11 於:大垣市スイトピアセンター音楽堂
- ・ウインドアンサンブル定期演奏会:3/21 於:大垣市民会館大ホール

○FD推進事業

本学における教育の質保証とその基盤となる教員の教育力向上に向けて、FDの組織的な取組をさらに推進し、教育内容、授業方法、教育評価の改善を促進した。

- ・学生による授業評価(前・後期)
- ・FD研修会の開催:10/18(金)、11/15(金)、3/7(金)
- ・授業交流会(前・後期)
- ・学生に対する教育環境調査
- ・教員に対する学習方法や学習活動に関するアンケート調査
- ・卒業生の就職先へのアンケート調査

○SD推進事業

職員一人ひとりの自己研さん及び業務の専門性を高めるために、外部研修会の受講を推進し、業務改善や能力の向上に努めた。

- 6/17 入学者選抜・教務関係事項連絡協議会
- 6/25-26 私立大学等経常費補助金説明会
- 6/20 私学共済事務担当者連絡会
- 7/ 3 岐阜県私立短期大学協会教務研修会
- 7/16 科学研究費助成事業実務担当者説明会
- 7/17 岐阜学生就職対策連絡協議会合同就職セミナー
- 8/28 岐阜県私立短期大学厚生補導研修会
- 9/ 4 岐阜県私立短期大学協会事務担当者研修会
- 9/ 4-6 私立短大就職担当者研修会
- 9/ 4-6 日本学生支援機構 就職・キャリア支援研修会
- 10/21-23 私立短大教務担当者研修会
- 11/27-29 私立短大学生生活指導担当者研修会(岐阜市(都ホテル))

○国際交流事業

- ・フランス ユーラジウム校との相互短期留学を行った。
ユーラジウム校から 2 人が来学:10/23~年度末
本学から 5 人がユーラジウム校を訪問:2~3 月
学長が訪仏し協定書締結:2/25

- ・アメリカ メインランドカレッジ(デザイン美術学科、音楽総合学科、育児教育学科、看護学科)との交流を行った。

メインランド校から学生 4 人、教員 2 人が来学:6/17~27

本学から 1 人がメインランド校とテキサス市長を表敬訪問:9/1~4

○ネットワーク大学コンソーシアム岐阜への参加

- ・単位互換事業として、本学から教養科目 4 科目、専門科目 1 科目を提供した。
- ・岐阜県教員免許状更新講習(8/7~8/27 の内 8 日間)を開催した。受講者数 318 人
- ・高大連携事業として、セミナーに参加した。

大学ガイダンスセミナー:8/2(金) 於:じゅうろくプラザ

本学はマンガイラストペン入れ体験セミナーを開催し、6 人が受講した。

高大連携セミナー:11/20(水) 於:岐阜大学サテライトキャンパス

参加者:大学 35 人(本学 3 人)、高校 21 人、高専 3 人、県 2 人、放送大学 1 人

2 学生支援

○募集プロジェクト実施事業

- ・出版社マンガ持込事業<デザイン美術科>

東京都内の出版社へ漫画家志望の学生の作品を持込み、指導助言を受けた。

日程:9/2~3 参加学生:1 年次生 1 人、2 年次生 6 人、研究生 1 人

- ・通信添削事業<デザイン美術科>

ホームページを利用して添削希望の高校生を募り、継続的に作品の添削指導をすることにより、本学及びデザイン美術科の理解と学生募集活動に繋がった。

- ・実技講習会「人物を描こう」<デザイン美術科>

四日市市、一宮市、高山市、岐阜市

- ・「まんが甲子園(8/3~4)」への広告参加事業<デザイン美術科>

全国的に知名度の高いマンガイベントに広告参加した。

- ・高等学校・楽器店訪問事業<音楽総合科>

- ・高等学校訪問事業<歯科衛生科>

○広報活動事業

- ・音楽専門誌への広告掲載

「バンドジャーナル」・・・3 回、「ミュージックトレード」・・・2 回、「バンドクリニック」・・・1 回

○資格取得事業

次の免許・資格を取得した。

<幼児教育科>

保育士資格・・・30 人、幼稚園教諭二種免許・・・30 人、ピアヘルパー・・・6 人、

認定ベビーシッター・・・29 人、社会福祉主事任用資格・・・31 人、

母子指導員任用資格・・・30 人、音楽療法士(2 種)・・・3 人、

レクリエーション・インストラクター・・・5 人、訪問介護員二級・・・13 人

<デザイン美術科>

CGクリエイター検定・・・3 人、介護職員初任者研修・・・2 人、ピアヘルパー・・・1 人、

<音楽総合科>

音楽療法士(2 種)・・・8 人、社会福祉主事任用資格・・・10 人、

介護職員初任者研修・・・9 人、ピアヘルパー・・・5 人、

ヤマハ管楽器リペアグレード Basic 技術者認定コース・・・10人(クラリネット・・・3人、
サクソフォン・・・2人、トランペット・・・1人、ホルン・・・3人、トロンボーン・・・1人)

< 歯科衛生科 >

歯科衛生士・・・43人、社会福祉主事任用資格・・・43人、ピアヘルパー・・・1人

○入学志願者支援

・オープンキャンパスとして、教員による学科の教育内容の説明や通常の授業を反映させた
模擬授業、ボランティアの学生による学内案内等を実施した。

5/19(日)・・・87人、6/23(日)・・・98人、7/28(日)・・・246人

8/18(日)・・・229人、9/14(土)・・・126人、10/26(土)・・・110人

・入試説明会を開催した。:12/23(月)

○奨学金事業

学生の学業奨励や経済支援のため、奨学金を給付することにより学生の支援を行った。

< 大垣女子短期大学奨学金 > ・修学支援奨学金(1年次生)・・・37人

・成績優秀者奨学金(1年次生)・・・1人

・同窓生奨学金(1年次生)・・・9人

・社会人奨学金(1年次生)・・・4人

・科目等履修生奨学金(1年次生)・・・1人

・成績優秀者奨学金(全年次)・・・前期22人、後期14人

・経済支援奨学金(全年次)・・・9人

< 安田特別奨学金(1年次生) >・・・前期4人、後期3人

< 子育て支援事業記念特別奨学金(幼児教育科全年次) >・・・前期25人、後期24人

○就職支援事業

・キャリアサポーターを配置し、学生の求めに応じてアドバイスをを行い、相談解決に向けて
助言、進路決定や就職に向けての具体的な指導などを行った。

履歴書作成及び面接の指導(毎週火～木曜日 10:30～17:30)・・・63件

・毎週水曜日(15:00～17:30)にハローワークから派遣されたジョブサポーターにより、職業
紹介などを行った。ハローワークへの求職登録人数・・・56人

・企業ガイダンスなどに学生の参加を促した。

7/13(土) 岐阜県民間保育連盟就職ガイダンス・・・26人参加

7/17(水) 岐阜県中小企業ガイダンスセミナー・・・10人参加

7/21(日) 岐阜県私立幼稚園連盟就職ガイダンス・・・20人参加

9/29(日) 滋賀県歯科医師会ガイダンス・・・7人参加

11/6(水) 学内就職ガイダンス(企業5社)・・・9人参加

1/15(水) 岐阜県中小企業ガイダンスセミナー・・・37人参加

・就職に関する各種団体との会議に参加した。

4/17(水) 岐阜県学生就職連絡協議会

4/19(金) 中部学生就職連絡協議会

5/29(水) 岐阜県私立保育園協会連絡会

6/5(水) 岐阜県私立幼稚園協会連絡協議会(2/28も参加)

6/14(金) 各務原市雇用・人材育成推進協議会

○健康支援事業

・保健室に常時職員(保健師)が勤務し、日常の健康管理及び応急処置を行った。

定期健康診断受診率・・・99.3% (562 人)

保健室利用状況・・・893 件(応急処置 541 件、健康相談 254 件、その他 98 件)

・学生相談室(臨床心理士 2 人)

また、ピアヘルパーの資格を取得した学生のうちピアサポーターとして 12 人を選任し、学生相談員の指導のもと、学生相談活動を行った。

4～6 月の 12:00～13:00、16:00～17:00 について、2 人交代

○食育講座の開催(4/25:岐阜県栄養士会と協働で開催)

フードモデル展示、管理栄養士による栄養相談 参加学生数・・・約 150 人

○スクールバス委託事業

看護学科開設に伴い、利用者が集中する時間帯に往復各 1 本の増便を行った。

往路=4 本、復路=5 本 ⇒ 6 月～ 往路=5 本、復路=6 本

○特別教育講演会事業

看護学科開設の記念事業として、聖路加看護大学長を講師に迎え、看護教育の充実と発展、看護師の資質向上を図るため、日本中央看護専門学校と合同で開催した。

日時:10/5(土) 13:30～ 於:みずきホール 聴講者人数:約 230 人

3 施設整備・管理・運営

○建物備品等管理・運営事業(教育研究経費を除く)

消耗品(事務用品等)・・・175 万円

光熱水費(電気、ガス、灯油、下水等)・・・444 万円

旅費交通費(運賃、ガソリン等)・・・1,771 万円

通信費(電話、郵便、インターネット等)・・・301 万円

印刷製本費(封筒等)・・・1,294 万円

修繕費(施設設備修繕等)・・・338 万円

報酬委託費(電気保安業務、消防関係設備保点検、コンピュータ関係保守点検、エレベータ保守点検、セキュリティ、清掃業務等)・・・752 万円

保健衛生費(一般産業廃棄物処理、粗大ごみ処理、飲料水検査)・・・39 万円

○施設設備等の整備事業

・1 号館に備品等を納入した。 什器備品(教室机、椅子等)、医療機器備品(ベッド等)、映像・音響機器備品、カーテン・ブラインド、ラーニングcommons等什器、電話配線・LAN配線

○揖斐川河川敷グラウンド(安八郡神戸町)返還事業

グラウンド内構築物を撤去、整地(230 万円)し、国(国土交通省)への返還を完了した。

○教材楽器購入事業

リペア用として中古の楽器(クラリネット 3 本、アルトサクソフォン 1 本)を購入した。

○G号館改修事業

・G-201 基礎実習室の改修を行った。

室内改修工事、歯科用機器備品、専用椅子、映像設備

- ・G-1 階消毒室の滅菌装置の代替を行った。
- ・G-203 模型実習室の遮光カーテンの取替を行った。

○C号館厨房室、F-201 の空調機設置

厨房室には新規で、F-201 には故障に伴う代替機を設置した。

○I号館連絡通路(F号館東)屋根設置

I号館への連絡通路に、雨除け用の屋根を設置した。

○大学名看板(A号館側面)設置

大学前の市道を通行する車両から見える位置に、大学名の看板を設置した。

○学内のパソコン更新

WindowsXPのサポート終了に伴い、対象機器の代替を行った。(D-302、D-402、教職員)

○I号館1階無線LAN工事

学生のタブレット端末(i-Pad)にインターネット環境を提供するため無線LAN工事(68万円)を行った。

4 地域社会との連携及び貢献

○施設の貸出

体育館、グラウンド、テニスコート、みずきホールなどを地域のスポーツ少年団、中学校、高等学校の部活動、地域団体、住民のレクリエーション、研修会場などとして貸し出し、施設の有効活用と地域との関係を深めた。

体育館(2階リズム室含む)143回、テニスコート77回、グラウンド66回、
B号館101室55回、その他35回

○子育てサロン「ぷっぷあ」開催事業

地域の親子の居場所づくりや情報交換など子育て支援を通じて、幼児教育科の学生を中心に全科の学生が体験学習によって学修意欲を高め、学習成果を一層向上させた。

開設日時:毎週木曜日 10:00~13:00 (第1、3は変則的、8月は休み)

場所:H号館1階

運営メンバー:コーディネーター2人、地域のボランティア3人、幼児教育科教員2~5人、
幼児教育科2,3年次生

○地域感謝DAY(8/24(土))開催事業

看護学科が新設され、5学科からなる総合短期大学として新たな一步を踏み出したのを機に、地域住民に本学の教育・研究活動を更に理解してもらう機会とするため、開催した。

内容:オープニング/ウインドアンサンブル演奏

基調講演/学長

シンポジウム/学長、学科長・総合教育センター長

公開講座/14講座

来場者:約600人

○みずき祭(10/26(土))開催事業

みずき祭実行委員会が中心となって企画運営し、各学科の特色を活かした手作りのイベント内容で開催した。また、地域の自治会及び周辺地域へ案内告知を行うなど、地域を巻き込んだ取組を行った。

○こども祭(1/19(日))開催事業

幼児教育科が中心となって企画運営し、学生の学修成果発表の機会と地域の子育て支援の一環として全学科が参加して、劇、人形劇、パネルシアター、エプロンシアター、演奏、遊びのコーナーなどの内容で開催した。

また、連携に関する協定を交わした大垣共立銀行エルズプロジェクトからの参加協力を得た。

○大垣市等との連携事業

・十万石ふるさとまつり 神輿パレード:10/13(日) 於:大垣駅前通り

・歯の健康フェスティバル:6/2(日) 於:大垣城ホール、垂井町保健センター
歯科衛生士コーナー(フッ化物塗布等)

・元気ハツラツ市:9/1(日) 於:大垣駅前通り
歯科衛生科ブースにて口腔ケア指導など

・市民の健康広場:10/20(日) 於:大垣城ホール
歯科衛生士会コーナー(ブラッシング指導他) / 歯科衛生科
街の保健室コーナー(血圧測定他) / 看護学科

・子育てママ大学:10~12月(全4回)

大垣市との連携事業として、子育てサロン「ぷっぷあ」と連携し、本学で開催した。

・平成26年度芭蕉蛤塚忌全国俳句大会ポスター・チラシ原画募集に、本学学生の作品が選定された。

<本学学生の入選状況>

最優秀賞・・・1作品、優秀賞・・・1作品、入賞・・・16作品

○公開講座事業

地域住民の生涯学習活動を支援するため、公開講座を開講した。

子育て講座・・・1,462人、アクリル画講座・・・1人、音楽心理学・・・0人

口腔ケア技術法・・・1人、症状の見方・・・1人、外国語コミュニケーション・・・5人

○官学等連携事業

似顔絵、マンガ、デザイン等の製作を受託した。

マンガ・・・1件、デザイン・・・1件

○出前講座

教養・・・・・・・・・・5テーマ3回

子ども・・・・・・・・・・9テーマ8回

福祉・・・・・・・・・・2テーマ2回

特別支援・・・・・・・・・・1テーマ2回

美術・デザイン・・・5テーマ13回

音楽・・・・・・・・・・4テーマ9回

健康・・・・・・・・・・12テーマ13回

○ウインドアンサンブル依頼演奏事業

各種セレモニー、フェスティバル、慰問など 年間50回以上演奏

5 日本中央看護専門学校

《平成 25 年度 主な行事及び特別講義、国家試験対策等実施報告》

- ・ 4/17 ……3 年生キャリアマネジメント「履歴書の書き方」
- ・ 4/18-19……3 年生宿泊研修（京都妙心寺座禅体験と命の講話）
- ・ 4/26 ……3 年生地域の独居高齢者との交流会
- ・ 4/26/又は 9/20……3 年生在宅看護論実習前接遇講義「訪問マナー」
- ・ 5/1 ……3 年生キャリアマネジメント「面接準備」
- ・ 5/29 ……2 年生解剖見学
- ・ 8/2 ……劇団四季「サウンド・オブ・ミュージック」観劇
- ・ 9/26 ……2 年生キャリアマネジメント「就職講話（卒業生と語る会）」
- ・ 10/5 ……特別教育講演「臨床へつなぐ看護教育」（短大共同開催）
- ・ 10/6 ……大垣病院ふれあい祭りボランティア参加（7 名）
- ・ 10/7 ……2 年生年金制度説明会
- ・ 10/27 ……2 年生岐阜県病院学協会医学会参加
- ・ 11/16 ……2 年生大垣市民病院集団救急模擬訓練への参加
- ・ 11/27 ……2 年生災害・避難訓練
- ・ 12/19 ……2 年生キャリアマネジメント
- ・ 2/6 ……2 年生特別講義「高齢者との関わり方」
- ・ 2/16 ……3 年生看護師国家試験

＜国家試験対策＞

3 年生：教員が国試対策セミナーに参加後、年間スケジュールの作成

- ・ 4/2 国家試験対策ガイダンス（卒業生講話）
- ・ 4/22 国家試験対策ガイダンス（さわ研究所）
- ・ さわ研究所夏期特別講習会（7/29、30、31、8/1 の 4 日間）
- ・ さわ研究所冬期特別講習会（1/15、16、17 の 3 日間）
- ・ 模擬試験（学内 4、5、6、8、11、12、1 月、現地模試 1 月の計 8 回）
- ・ 教員による国家試験分野別特別講義（1/7、8、9、10、14 各半日 5 日間）
- ・ 教員による担当者別成績低迷者指導（10 月～2 月の 5 ヶ月間）

2 年生：低学年模擬試験（4、6 月の 2 回）

Ⅲ 財務の概要

1 平成 25 年度決算の状況

○収入について

大垣女子短期大学では、平成 25 年度に看護学科が新たに加わり 5 学科を要する総合女子短期大学となったことから、収容定員数が 80 人増加した。さらに 5 学科中 4 学科で入学定員を上回る入学者数を確保したことから、学生数は 566 人(前年度比+120 人)となった。日本中央看護専門学校では、学生募集を中止したことから入学生(1 年次生)はおらず、2 学年のみで学生数 83 人(前年度比-48 人)となった。以上により、学生生徒納付金収入は前年度比+1 億 973 万円(119.4%)となった。

一方、平成 26 年度入学希望者(受験者)数は伸び悩み、入学検定料収入は前年度比-490 万円となった。

また、看護学科を開設するにあたり、平成 24 年度に受け入れた地域の企業・団体からの支援が減少したことにより、寄付金収入は前年度比-3,206 万円。国庫補助金の減少および大垣市からの支援分が減少したことにより、補助金収入は前年度比-1 億 6,197 万円となった。

さらに、平成 24 年度に満期を迎えた国債の売却収入分が、平成 25 年度は無かったことにより、資産売却収入は前年度比-242 万円となった。

○支出について

看護学科開設に伴い、専任教員数および非常勤講師数が増加したことにより、人件費支出は前年度比+4,619 万円となった。

経費は、全体で前年度比-1,257 万円となった。

具体的には、揖斐川河川敷グラウンド返還に伴う工作物の撤去費用、国際交流事業経費、スクールバス増便費用、地域感謝 DAY 実施経費が新たに発生した。一方、平成 24 年度に発生した費用(教学系ソフトウェア導入費用、教室用途変更に伴う工事費用、第三者評価料、学科設置等コンサルタント料、看護学科開設準備に伴う費用(広告代含む))が無くなったことにより、経費の減少に寄与した。

施設関係支出においては、前年度比-8 億 4,725 万円となったが、主要因として平成 24 年度に発生した I 号館建築費用分が無くなったこと、一方平成 25 年度は、G 号館 201 教室改修(2,310 万円)を行ったことが挙げられる。

設備関係支出においては、前年度比+1 億 5,913 万円となった。主要因は G 号館 201 教室等の備品に 7,603 万円、I 号館の備品に 1 億 11 万円。またマイクロソフト社の WindowsXP サポート終了に伴う学内パソコンの入れ替えで 1,364 万円である。

資産運用支出においては、平成 24 年度に I 号館建築費用として自己資金を 9 億 5,500 万円取り崩したことから改めて平成 25 年度に 2 億円を特定資産に繰り入れ、前年度比+2 億円となった。

支払資金(現金及び現金同等の預貯金)においては、平成 25 年度末は 6 億 4,238 万円(前年度比-1 億 530 万円)となった。

学校法人の経営状況において、帰属収入は 8 億 7,116 万円。基本金組入額は 1 億 9,777 万円となり、帰属収入から基本金組入額を控除した消費収入合計は 6 億 7,339 万円であった。一方、消費支出合計は 9 億 2,266 万円であり、消費収入から消費支出を差し引いた当年度消費支出超過額(赤字)は 2 億 4,927 万円であった。その結果、前年度繰越消費支出超過額を加えた翌年度繰越消費支出超過額(赤字)は 23 億 7,571 万円であった。なお、基本金組入額を控除する前の帰属収入から消費支出を差し引いた当年度の帰属収支差額は 5,150 万円の支出超過(赤字)であった。